



国民の森林・国有林

中部森林管理局

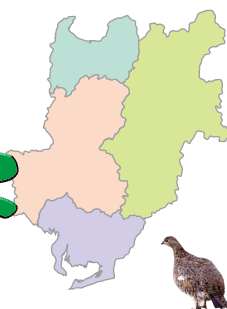
〒380-8575 長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



中継の様子、左から青池アナウンサー、滝沢沙織さん、松井戸隠森林官、丸ノ内自然保護官

森林官、テレビ生中継で国有林をPR

(P2に関連記事)

主 な 項 目	○ マスコミを活用した国有林PRと研修	P2～3
	○ 地域との連携	P3～4
	○ 風景紀行「伊奈川溪谷」	P8



この広報誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

マスコミを活用した

国有林PRと研修

森林官、テレビ生中継で

国有林をPR

〔広報〕九月二十六日、長野朝日放送の七時間まるごと自然派スペシャル「みつめて！信州生テレビ2009」が放送され、北信署戸隠森林事務所の松井森林官が生中継で国有林のPRを行いました。

長野朝日放送は、自然をテーマに毎年七時間番組を放送しており、今年も国有林として協力をしてきましたが、今年は、戸隠（長野市戸隠）の鏡池をメイン会場に各地四箇所を中継しての番組を計画し、春から中部局に協力要請がありました。

中部局は、番組内で国有林のPRができることから番組制作に協力してき



メインキャスターの滝沢さんと松井森林官

ました。

番組では、戸隠を管理する松井森林官と環境省丸ノ内自然保護官が共に女性であることから、女性から見た森林・自然の保護管理について、メインキャスターの滝沢沙織さん（女優）と青池アナウンサーの四名が自然の保護管理について対談した様子を生中継されました。

番組ではこの他に、有井広報主任官が平澤アナウンサーと希少種のトガクシショウマを探す様子や、滝沢沙織さんに戸隠の自然を説明する様子が放送されました。

また、写真家の海野和男さんや作家の井出孫六さん、番組中に戸隠山登山をした歌手の三四六さん、水路を担当した俳優の中本賢さん他が出演しました。

今回の番組は、七時間と長時間ではありましたが、前記以外にも植物、昆虫、希少種等について中部局が関わりを持った番組となり、国有林のPR、希少種の保護、登山・自然観察のマナー等について啓発することができました。

番組終了後、長野朝日放送から、御礼の言葉がありました。

金曜会の国有林視察

―長野県内マスコミ各社の長―
御柱の生産地を視察

〔広報〕九月二十九日、金曜会（長野県内マスコミ各社の報道責任者の会）によ

る恒例の国有林視察を実施しました。

今年は、来年四月に開催される、諏訪大社式年造営御柱大祭に使用される御柱を伐採してある南信署管内の東俣国有林を視察しました。

東俣国有林は、古くから御柱祭のモミ用材を供給してきたことから、平成十四年に地域伝統文化を支える森づくりを目的として「御柱の森」を設定している所です。

徒歩約二十分で春宮一の御柱伐採箇所に着すると直径約一メートル、長さ十七メートルに採材された柱が横たわっており、初めて見る大木に驚いた様子でした。

現地では、金井下諏訪首席森林官から御柱の伐採までの経緯とバークガードの設置やワナ捕獲などニホンジカ被害対策



御柱の前で記念写真

の実施状況の説明がありました。

午後は、諏訪大社下社秋宮で諏訪大社・御柱の由来等の説明を受けました。今回の視察を通じ、伝統文化への貢献など国有林が果たしている役割について理解を深めていただくことができました。

また、マスコミ各社も来年の御柱の対応について参考となったようで、感謝の言葉がありました。

説明能力の向上を目指して

職場内研修を開催

〔南信署〕九月八日に、南信署と伊那谷総合治山事業所職員を対象に職場内研修「プレゼンテーション研修」を開催しました。

講師として、信濃毎日新聞に掲載され



シカワナ設置の実演

ている「希少種はいま」の執筆担当者、同社の編集委員の増田今雄氏を迎え、わかりやすい説明資料の作成手法に関する講義を受けました。

講義内容は、①写真の撮り方（カメラの構え方、アングルの重要性、テーマを分かってもらう工夫）②説明文の書き方（5W1Hでポイントを整理、見出し・リード・本文の注意点、起承転結と段落の流れ）③新聞記者の取材テクニック（十取材して書くには二、三が原則）等について、永年新聞記者として数多くの記事作成に携わってきた経験談や実例を交えながらそれぞれのポイントについてお話を伺うとともに、「中部の森林」に掲載された南信署の記事について、良いところ悪いところの指導も受けました。



講義をする増田今雄氏

開かれた「国民の森林」としての管理経営を推進していく上では、国民の視点に立った事業の実行とともにその成果の効果的な説明・PRが求められています。今回の研修で得たことを職員一人一人が各種説明資料の作成やマスコミへの情報提供等に活かし、国民の幅広い理解と支援を得るように努めていくこととしています。



研修の様子

地域との連携

行政懇談会を開催

「南木曽支署」八月二十一日、南木曽会館大会議室において、南木曽町と当支署

との行政懇談会を開催しました。
当日は、南木曽町長をはじめ南木曽町関係者十三名、当支署からは支署長他十名の職員が参加しての会議となりました。

会議では、双方から事業・業務の概要の説明の後、要望事項を個別具体的に説明し、回答していく方式で活発な議論が展開されました。

南木曽町からは、木材産業は元より地元産木材を加工した工芸品の持続的な振興に不可欠な地域材の安定供給や、度重なる集中豪雨災害に見舞われた歴史を忘れず、災害に強い山作り、とりわけ治山事業の積極的な推進と、生活に密着する十一路線の併用林道の防災等改良工事に



懇談会で挨拶する廣田支署長

ついで要望が出されました。

これに対して当支署は、町からの要望は地域別住民懇談会を通じた住民の皆様の見解が反映されたものと認識しており、地域の皆さんの安全・安心のための業務運営に努めるとの考えを伝えるとともに、貸付地の有償化及び新設林道の工事に係る協力要請を行うなど実りある懇談会となりました。

来年度に向けては、現地見学も含め実施していくこととしており、より充実した行政懇談会になるよう努めることとしています。

地元市町村との意見交換会を開催

「岐阜署」九月二十九日、当署管内の地元市町村で構成する「岐阜地区・国有林野等所在市町村有志協議会」を下呂市において開催しました。

初めに、中部森林管理局の竹林次長から、最近の森林・林業の動向、経済界、金融機関、全国市町村会からそれぞれ日本の森林・林業の再興に向けた問題提起がなされているとの情報提供と挨拶がありました。

その後、局、森林技術センター、岐阜森林管理署から、それぞれ取組状況について説明がなされた後、野村下呂市長の議長により、活発な要望・意見の交換が行われました。

このなかで「来年度岐阜県で開催され



有志協議会の様子

る全国豊かな海づくり大会」に向けて、各市町村では様々なイベントを計画し準備を進めており、国有林としても協力をしていたいただきたいとの話があり、「金華山の枯損木処理の推進、官行造林の契約延長」等の要望が出されました。

また、「森林・林業への関心は高いが、現実としては材価が安く、特に民有林では儲からないために材を出せない、間伐が進まない」、「来年度、加子母地区で着工予定となっている製材工場（セイホク）の木材安定供給の必要性」等について意見交換がなされ、各市町村長さんの熱い思いが伝わる協議会となりました。

民有林直轄治山事業地視察

国有林の取り組みを紹介

〔富山署〕十月二日、富山県地域振興団体協議会主催の担当課長会議及び現地研究会が、常願寺川地区民有林直轄治山

事業地で開催され、市町村の林務担当者十六名が参加されました。

当初この事業は、富山県が砂防事業と連携しながら昭和四十二年度から平成八年度まで山腹崩壊等の復旧を進めてきましたが、事業規模が大きいこと等から、県や関係各方面からの強い要望を踏まえ、平成九年度から国の直轄治山事業として着手している地区で、立山カルデラに隣接する流域にあります。

現在、資材運搬用のトンネル（九八五メートル）が完成し、橋梁（四五メートル）工事や溪間工及び山腹工を施工しており、常願寺川治山事業所主任の案内により、本年度の事業内容について説明を行いました。

会議では、当署の各事業の取組等について説明を行い、意見交換会を実施しました。出席者からは、大規模砂防事業地



スゴ谷トンネル出口
（奥は橋梁新設工事箇所）

の上部で国有林が治山事業を施工していることに驚いたようで、国有林への理解を深めていただく良い機会となりました。

民有林現地検討会（作業路網）の

技術指導

〔技術センター〕十月二日、下呂市馬瀬惣島及び名丸、下呂市萩原町羽根の民有林において、「ひだ林業・建設業森づくり協議会下呂部会」の主催による作業道作設現地検討会が行われ、同協議会から依頼を受けた森林技術センター職員が講師をつとめ、技術指導をしました。

当日は、小雨の降る中、岐阜県、下呂市職員を始め下呂部会員二十名が参加しました。



現地資材（転石）を活用した洗い越し

このなかで、作設中の作業道において、線形設計のあり方や水処理の分散、

洗い越しの作設方法や現地資材を活用した構造物の配置、土質に応じた施工方法等について熱心な討議が行われるとともに、簡易で耐久性の高い作業路網について、当センター職員が技術指導を行い、民・国連携した現地検討会の実施となりました。

各地からのたより

地域発案で美女平風致探勝林内の遊歩道整備（チップ撒き）

〔富山署〕美女平からブナ坂一帯は、昭和六十一年三月に「美女平風致探勝林」に指定され、遊歩道が設けられ多くの観光客に利用されています。



間伐材の運び出し作業（官行造林地）